

富山湾産魚類の寄生性カイアシ類3種について

著者	伊澤 邦彦
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	17
ページ	99-100
発行年	1994-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=639

短 報

富山湾産魚類の寄生性カイアシ類 3 種について*

伊澤 邦彦

三重大学生物資源学部資源生物学教室

富山市科学文化センター所蔵の富山湾産魚類の寄生性カイアシ類 3 種を報告する。日本の寄生性カイアシ類に関する記録は、本邦太平洋岸と比べて少ない。貴重な標本の同定と報告の機会を与えられたことに對して、同センターの布村昇、南部久男両氏に感謝する。

節足動物門 Arthropoda

甲殻亜門 Crustacea

アゴアシ綱 Maxillopoda

カイアシ亜綱 Copepoda

Siphonostomatoida 目

サメジラミ科 Pandaridae

1 *Echithogaleus coleoptaratus* (Guerin. 1837) ヨシキリジラミ 3 ♀♀

宿主 ネズミザメ *Lamna ditropis*
Hubbs et Follett (ネズミザメ科)

寄生部位 体表

採集地 富山県富山市水橋沖

年月日 1990-Apr-21

採集者 (parasite) 布村昇, (host) 南部久男

標本番号 TOYA Cr-11561~11563

本種はヨシキリジラミ属の模式種 (基準種) である。世界共通種で、種々のサメ類から報告されているが、本邦近海からは、山口 (1936) 及び椎野 (1955) により太平洋岸産のヨシキリザメから報告されている。

Dichelesthiidae 科

2 *Anthosoma crassum* (Abildgaard, 1794)

ハナガタムシ 5 ♀♀, 2 ♂♂

宿主 ネズミザメ *Lamna ditropis*
Hubbs et Follett (ネズミザメ科)

寄生部位 口腔

採集地 富山県富山市水橋沖

年月日 1990-Apr-21

採集者 (parasite) 布村昇, (host) 南部久男

標本番号 TOYA Cr-11564~11570

本種はハナガタムシ属の模式種で、一属一種。寄生性カイアシ類では大型種。世界共通種で、種々のサメ類が宿主となるが、まれに硬骨魚類のマンボウにも寄生することが知られている。本邦では、山口 (1936) が富山湾産ネズミザメから、椎野 (1955) が太平洋岸産のヨシキリザメ、エドアブラザメ、ネズミザメから報告している。学名も和名も共に、脚の基部に発達する大きな板状の拡張部が、重なりあって、花びらのように見えることに由来する。

ナガクビムシ科 Lernaeopodidae

3 *Clavella adunca* (Ström, 1762) 2 ♀♀

宿主 スケトウダラ *Theragra chalcogramma* (Pallas) (タラ科)

寄生部位 体表

採集地 新潟県能生町沖

年月日 1976-Feb-26

採集者 布村昇

標本番号 TOYA Cr-11571~11572

本種は *Clavella* 属の模式種で、やはり世界共通種。宿主は主にタラ科に属する硬骨魚類。本邦では、椎野 (1956) がマダラから報告している。

* 富山市科学文化センター研究業績第165号

文 献

- Shiino, S. M. (1955) Copoepods parasitic on Japanese fishes 8. the anthosonidae. Rep. Fac. Fish. Pref., Univ., Mie, 2(1):50-69.
- Shiino, S. M. (1956) Copopods parasitic on Japanese fishes 12, family Ler-naeopodidae. Rep. Fac. Fish. Pref., Univ., Mie, 2(2):269-311.
- Yamaguti, S. (1936) Parasitic copopods from fishes of Japan part 3, Caligoida, II, A self paying publication. October 5. 1936:1-21. Pls.1-9.